



教育目標 ・すすんで学ぼう ・美しい心を育てよう ・たくましい体をつくろう  
経営理念 自分と人類の幸福を創造する人材の育成

## ○待ち遠しい春

去る1月20日は大寒で、青梅市の最高気温は7.1℃、最低気温3.7℃で、雪にはなりませんでしたが、雨も降りだし名実ともに寒い1日でした。2月4日が立春となりますが、寒さが続いています。しかし、季節は着実に巡ります。新町中のプール脇にスイセンが僅かな株しかありませんが毎年、咲き誇ります。スイセンは、花の咲く時期とそのラッパのような見た目から「春を告げる花」と言われ、縁起の良い花です。さて、1年生は3学期早々にスキー教室がありました。多くの1年生にとって初めてのスキーに果敢に挑戦し滑れるようになったこと、2日間あったレク大会を先生に頼ることなくレク係が全てを仕切り全員で楽しむことができたこと、宿舎での生活が整然としており節度があったこと、それを象徴するのが左下にある写真の通りで、使用したスリッパが専用の挟みで閉じられ、どの部屋も並べてあったことなどがあげられます。



春を告げる新町中のスイセン 1/22 撮影



1年生は「やればできる」、「皆と頑張ったことが楽しい」と言わしめる場面が数々ありました。大きな自信につながったと思います。2・3年生も振り返れば、昨年のスキー教室で同様に極めてきた事実がありました。3年生は、進路と言う正に極寒の境地に至っていると思うかもしれませんが、中学時代に極めた「皆と共に頑張ることが楽しい」で過ぎ去って行ったあの日、すなわち運動会や修学旅行、合唱コンクール、そしてクラス・学年の仲間と過ごしてきた日々が思い返され、そのことをもって、弱くなった心が慰められ、励まされながら何とか凌いでいることと思います。スイセンのように寒くても咲き誇り、春を告げる心意気を自分に重ねて頑張ってください。今の学年・クラスも残り2ヶ月を切りました。思い出が豊かになるよう、崩れかけたこと（生活、学習、人間関係）は修復するよう心がけて最高の思い出にして巣立ちましょう。その思い出は皆の力で創造して行きましょう。

## ○2月・3月初旬の学校ポイント

### (1) 2/10は(多くの)私立高、2/21は都立高の一般(一次・前期)入試です

2/2に都立高校推薦入試の発表を迎えますが、入試は続きます。受験生は梅のつぼみのような心境もあると思いますが、後もう少しです。最後まで諦めることなく、自分の将来(春)を掴むため頑張ってください。

### (2) 2/26(月)から学年末考査です

定期テストは年度内に5回ありますが、いよいよ最後の回となる学年末考査です。1・2年生は進級した時に良いスタートを切るため、3年生は9年間の義務教育の総決算と言うべき意味合いがあります。それぞれの重み・意義を感じ取って、計画的に取り組み、悔いを残さないよう、こちらも頑張ってください。

初日：数、音、技家

2日目：英、国、美

3日目：理、社、保体

### (3) 保護者会があります(1年3/6(水)、2年3/5(火))

年度末を迎えようとしています。今年度本校での教育活動の成果と課題等を説明させていただきます。別途ご案内いたしますが、各保護者会とも3時開始を予定しています。5校時は当該学年の授業参観も可能ですので合わせてよろしくお願ひいたします。体調不良等がある場合はご遠慮いただきますようお願いいたします。なお、3年は今年度から年度末の同会を割愛させていただいておりますのでご了承承願ひいたします。

## ○ 学校評価（自己評価）結果について

昨年11月にお願ひしました保護者アンケート、生徒アンケートへのご協力ありがとうございました。以下のグラフは、生徒－保護者－教員の三者比較です。これらに基づいて学校評価自己評価を別紙のとおり行いました。（学校評価シート）現在、見直しを進めており、来年度の学校経営方針、教育活動計画等を改訂しているところです。また、自己評価を用いて学校関係者評価（第3回【R6.2.16】学校運営連絡協議会）を行った上で、最終的な意思決定を行う予定です。

### 凡例



できた



ややできた

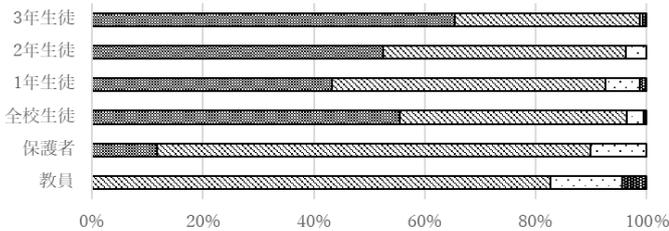


あまりできなかった

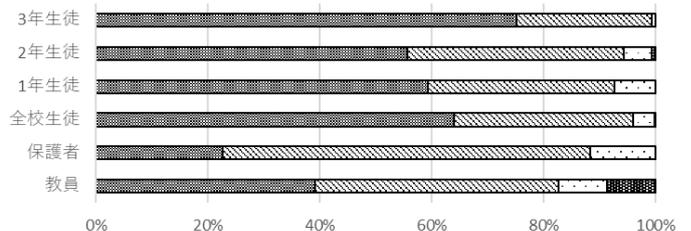


できなかった

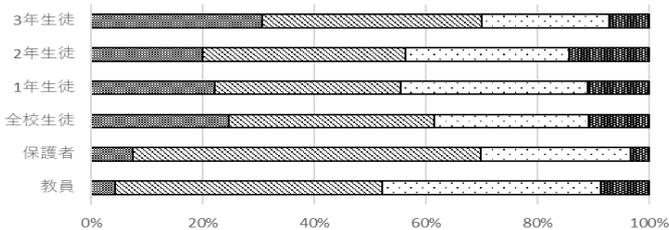
1 教科の授業では、生徒の自立的な学習や対話的な学習がよく行われている。



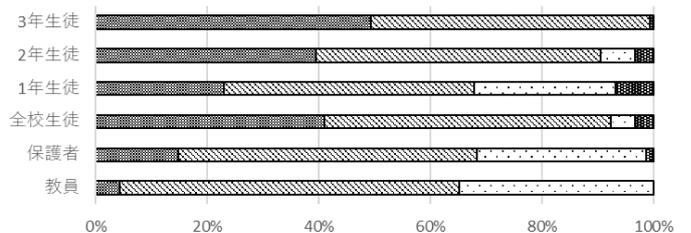
2 教科の授業では、大型モニターや生徒のタブレットが多く活用されている。



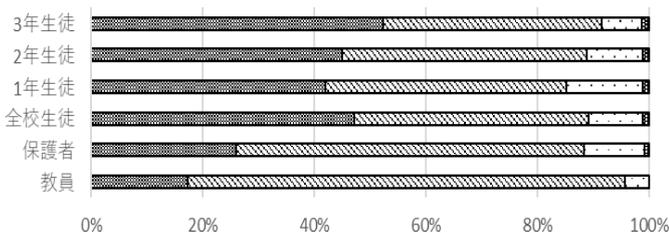
3 家庭学習として授業ノートをまとめたり、調べ学習を行っている



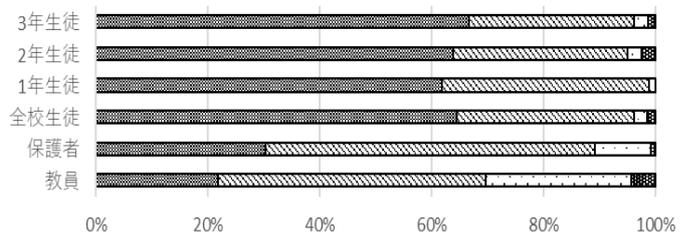
4 校則改定の方針を確認し、関心を寄せている。



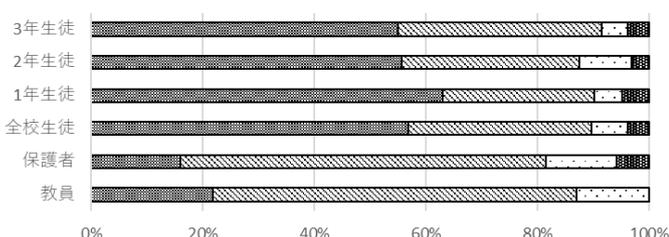
5 生徒は命や環境の大切さに目覚め、いじめ・暴力をなくそう、環境を良くしようと努力している。



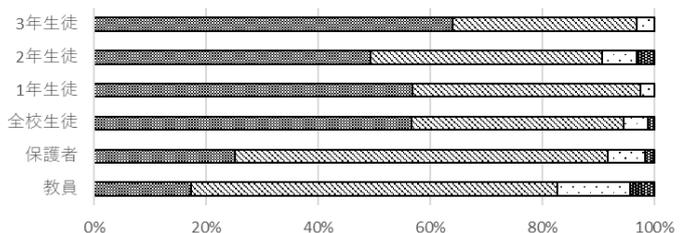
6 生徒は学校生活を楽しんだり、学習や部活動等で困難なことがあっても乗り越えようと努力したりしている。



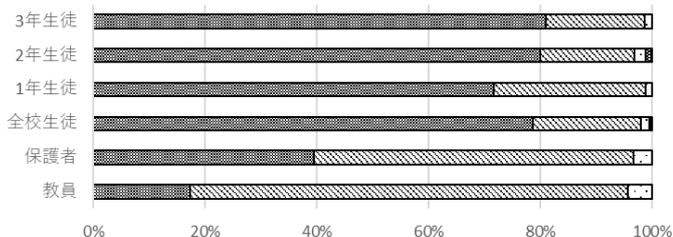
7 学校は、生徒の不安や期待を受け止めたり励ましたりして、生徒の生きる力の育成に努めている。



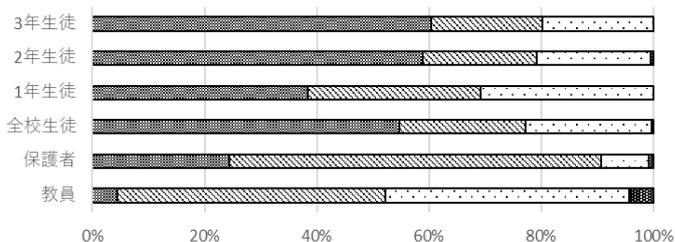
8 生徒は青梅の良さと課題を掴み、理想とする青梅を構想している姿が見られた。



9 生徒が主体となった活動に取り組ませ、  
学校や集団をより良く高めている。



10 学校はよりよい生き方を考えさせるとともに、  
一人一人の生徒に応じたキャリア形成の支援を行っている。



### お知らせ①

〇〇主任教諭が1/27から出産休暇・育児休業に入っています。このため1/29より2年生の国語授業について、年度末まで〇〇〇〇時間講師（2年各クラス週3時間）、〇〇教諭（2年A/B組週各1時間）、〇〇教諭（2年C/D組週各1時間）受けもつことになりましたのでよろしくお願いします。

### 〇1月の学校の様子

### (1) 1年スキー教室の思い出1/10~12

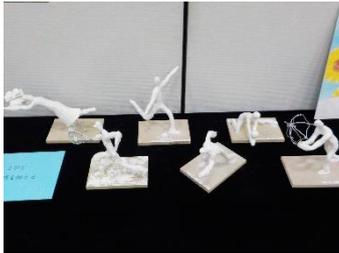


### 2日間あったレク大会



びじゅつさくひんてん  
**(2) 青梅市中学校美術作品展がありました(1/20~22:青梅市立中央図書館)**

※写真は新町中学生の作品



○お知らせ②

**令和5年度 東京都教育委員会児童・生徒等表彰**

2B0000くんが、同表彰基準「地道な活動(伝統文化:和太鼓)を継続的に行い、他の児童・生徒等の範となる者」に該当し受賞されました。おめでとうございます。

**令和5年度 中学生人権作文コンテスト**

以下の生徒が各賞を受賞されました。おめでとうございます。

- 2C0000さん 「帰国子女の私が伝えたいこと」で東京都作文委員会賞を受賞
- 2B0000さん 「男女差別・ジェンダーレス」で青梅市人権擁護委員賞を受賞
- 2D0000くん 「誰もが困らない環境づくりを」で青梅市人権用語委員賞を受賞



ぶかつどう  
 ○部活動、がんばっています 12/25~1/21 ※敬称略

おめでとうございます 吹奏楽部  
 東京都中学校アンサンブルコンテストで銀賞  
 ※校長室で記念撮影1/22



部活動名	大会名	団体/個人	大会日	対戦校	勝敗結果	内容等	
サッカー	第8ブロック冬季大会	団体	1月13日	福生一・二合同チーム	負		
	第8ブロック冬季大会	団体	1月20日	瑞穂二	負		
吹奏楽	第57回東京都中学校アンサンブルコンテスト	団体	1月21日			管楽八重奏	銀賞

# 2月・3月初旬の予定

★給食あり、ST：ステップアップクラス（放課後補充教室）

月	火	水	木	金	土・日
<b>29★</b>	<b>30★</b>	<b>31★</b>	<b>2月1日★</b>	<b>2★※</b>	<b>3・4</b>
		⑤カット 再登校 16:30  技・家覧会始	①⇔⑥(フィッ)	2年校外学習 ※2年給食なし、 悪天候時授業（弁 当なし、④⑤⑥カ ット） 3年都立高推薦発 表（⑤⑥カット） ST	
<b>5★</b>	<b>6★</b>	<b>7★</b>	<b>8★</b>	<b>9★※</b>	<b>10・11</b>
	生徒朝礼  SC 来校	再登校 16:00  ST  技・家覧会終		2年校外学習予 備日 （※2年授業時 弁当）  ST	<b>10</b> 都内私立高校一 般入試始  <b>11</b> 建国記念の日
<b>12</b>	<b>13★</b>	<b>14★</b>	<b>15★</b>	<b>16★</b>	<b>17・18</b>
振替休日	全校朝礼  SC 来校	再登校 16:00 ST	1・2年 ESAT-J （都立キョウテト）	避難訓練  ST 学運協	<b>18</b> 青梅マラソン
<b>19★</b>	<b>20★</b>	<b>21★</b>	<b>22★</b>	<b>23★</b>	<b>24・25</b>
	安全指導  SC 来校	3年都立一般 （一次・前期） 入試（⑤カット）  ST	3年①総⇒道	天皇誕生日	
<b>26</b>	<b>27</b>	<b>28★</b>	<b>29★</b>	<b>3月1日★</b>	<b>2・3</b>
学年末考査 （数・音・技家）	学年末考査 （英・国・美）	学年末考査 （理・社・保体）  専門委員会	中央委員会 3年①総⇒道	3年都立一般 （一次・前期） 発表（⑤⑥カット）  ST	
<b>4★</b>	<b>5★</b>	<b>6★</b>	<b>7★</b>	<b>8★</b>	<b>9・10</b>
3年特別時間割始 3年DV啓発講座	2年保護者会 2年⑥カット 安全指導 SC 来校	1年保護者会 再登校 16:00  ST		ST	<b>9</b> 都立後期・二 次・入試

※お子様のことでご相談がある場合は、教員<sup>けいぎん</sup>の他、スクールカウンセラー（SC）もぜひご利用  
ください。（アポイント先：副校長<sup>ふくこうちやう</sup>、養護教諭<sup>ようごきやうゆ</sup>：電話 0428-31-0411）

予定は変更になる場合があります。ご理解とご協力をお願いいたします。変更が生じた際は別途、連絡  
いたします。

# 青梅市立新町中学校 令和5年度 学校評価(自己評価分)

- 評価基準 90%以上達成 A、 70%以上達成 B、 50%以上達成 C、 50%未満 Dとする。
- 自己評価方法 ※保護者及び生徒アンケートも加味し、評価する。(教員50%、保護者25%、生徒25%)

項目	経営目標	本年度の重点	具体的な方策	評価	分析結果	改善策
進んで学ぼう	Agency教育に基づく自立的・対話的で深い学びの実現	【学習指導力の向上】 授業改善だけでなく授業改革を進める。失敗を恐れず日本の課題克服に挑戦する。	①青梅市校内研究指定校として、研究を推進し、教科部会・学年会・管理職授業観察等での協議を深め、研究主題「Agency・AAR サイクルをもとにした自立的・対話的で深い学びの授業追究～OECD 学びの羅針盤 2030の提唱より～」を実現する。	B 75%	教員の評価は厳しく「よくできた」が0%であった。次いで保護者では「大変満足である」が12.6%、生徒では「できた」が55.6%で、生徒の評価が一番高かった。教員の方では左記の校内研究について一進一退の様子がかがえる。	令和5年度末に行った校内研究推進での評価分析・改善の方向性を活かし、引き続きOECDが目指すAgency・AAR サイクルを生かした授業改革を推進し、その成果が得られるよう研究を継続する。
			②ICTの活用：電子黒板、タブレットパソコン等の使用の日常化を図る。(受験5教科は週2回以上、実技教科週1回以上)	B 80.0%	生徒評価では「できた」(MAX)が64.0%で、前年度比で15.8ポイント改善し、ギガスクール構想が浸透してきている。	日常化の継続を行うとともに、個別最適な学習及び協働的な学習への活用力・指導力を高めていく。
			③自立的家庭学習を生徒に課し、受験5教科で、毎授業ごとに授業ノートまとめ+興味・発展調べを行わせ、全体を捉える学力を身に付けさせる。	C 65.0%	教員の評価は厳しく「よくできた」、「できた」を合わせると52.1%に留まった。令和5年度の新規事業だったが、保護者の意見(身に付いてない等)を踏まえ、実施方法の在り方を再検討する必要がある。	授業ノートまとめは継続する一方、興味・関心は希望者のみにするなど改善を図る。また、タブレット等の活用も検討し、生徒がより自立的に取り組める仕掛けを工夫する。
美しい心を育てよう	Agency教育に基づきVUCA&Diversity&Inclusion時代に生きる力を育成する。		④Agencyを引き出す校則の見直し、生徒の参画、保護者の理解を得て服装等に関する校則を改定する。(第Ⅱ期)	B 72.5%	肯定的な評価を合わせると生徒は80.9%で教員、保護者よりも関心が高い。12月生徒総会で、標準服改定の議決もされ、実行段階に入った。	昨年度に引き続き、校則の改定が進んだ。生徒指導提要(文科省R4.12)を踏まえ、今後も定期的な見直しを位置付ける。
			⑤いじめ・暴力・自死ゼロを目指し、命や環境の大切さを実感する教育を推進する。(ボランティア活動、セーフティ教室、生徒会いじめゼロ運動、生命尊重等をテーマにした道徳授業地区公開講座、修復的対話講習会等の実施)	B 80.0%	肯定的な評価を合わせると3者共に80%台を超えている。しかし「できた」(MAX)言い切る生徒は50%近くいる一方、保護者・教員は30%未満となっており、ギャップが認められる。大人の目から見て、その発生している実態等に憂慮していると思われる。	左記の具体的な方策は令和6年度でも継続した上で、道徳授業地区公開講座のテーマは「生命尊重」、「いじめの防止」を隔年で実施し、その効果を高めて行く。ボランティア活動は地域の貢献の比重を高めていく。
			⑥長期欠席生徒に対し、年間シートに基づく支援を行う。1週間1回の家庭訪問、学習支援及び社会性陶冶の視点を重視する。不登校担当教員の配置とその連携を図る。	B 77.5%	教員の評価は厳しく肯定的な評価は69.7%、このうち「よくできた」が21.7%である。増加傾向にある不登校等生徒に歯止めがかからず、危機感を覚えていることがうかがえる。	次年度も不登校加配教員が配置される見込みなので、引き続き、その活用を継続する。また、オンライン授業や別室支援等も継続させ、当該生徒、保護者のニーズに基づく支援を行う。
			⑦生徒の不安や期待を受け止め支援したり、生活指導等において生徒の意見表明権を保障したりする場を日常化する。	B 80.0%	「思う」と言い切る生徒割合が過半数(56.9%)を超える一方、保護者の見方は厳しく16.0%に留まる。教員も23.9%と低い。	保護者の願いを受け止め、教員の実践を高めていく必要がある。特に、保護者とのコミュニケーションを意図していく。
たくましく生きてくよう (未来を拓く)	自分と皆の幸福を創造する。		⑧青梅学を通して理想とする青梅を探究することにより幸福な日本・世界を創造する。	B 77.5%	「できた」と言い切る割合は生徒56.6%、教員65.2%で両者共に比較的良好である。特に教員で前年比17.2ポイント改善した。	次年度も継続し、青梅学を通じての日本人としてのアイデンティティを育成する。
			⑨自治能力と責任を高める学校行事(運動会、合唱コンクール、宿泊行事、校外学習)、生徒会活動等を行う。	B 82.5%	「できた」と言い切る生徒割合は78.7%前年比で26.4%も改善した。コロナが終息し、生徒が活躍している様子がかがえる。	次年度も継続し、生徒の自治能力と責任感を高めていく学校行事等を行う。
			⑩9年間を見通したキャリア教育、小中一貫教育の推進(職場体験、小6中学校体験授業を含む)	B 75.0%	「できた」と言い切る生徒の割合は69.5%で、教員は著しく低い。小中一貫教育がその影響を与えている。	特に2年生で進路学習をより反映する必要がある。小中一貫教育は課題解決に迫る方策を検討する。